

おびひろ 市議会 だより

No. 32
令和2年
12月定例会号

春を待つ広野町の初日の出(2021年)

目次

定例会の概要	1
一般質問	2~3
議案審査特別委員会の審査概要	4
市議会の紹介	5
常任委員会などの動き、自宅から市議会の動きを見てみよう！など	6

10/2 決議案
第1号提出

10/2 厚生
委員会付託

11/12
撤回請求

11/30 承認

12/16 決議
案第2号提出

12/16 可決

令和2年第6回定例会(10月2日)で厚生委員会に付託した「決議案第1号 特定放射性廃棄物の処分に関する決議について」は、提出議員より撤回の請求があり、本会議で承認しました。

一方、新たに、厚生委員会から「決議案第2号 特定放射性廃棄物の処分に関する決議について」が提出され、12月16日の本会議で採決の結果、全会一致で可決しました。

2つの意見書を全会一致で可決し、国会や関係行政省庁へ提出しました。
決議案を全会一致で可決

国会などへ意見書を提出

令和2年第7回定例会を11月30日から12月16日までの17日間の会期で開催しました。

今定例会では、令和2年度各会計補正予算、条例の改正などを審議したほか、20人の議員が一般質問を行いました。

定例会の概要

コロナ対策関連予算などを審査・可決

特定放射性廃棄物の処分に関する決議*

要約

寿都町と神恵内村が、特定放射性廃棄物の最終処分場選定に向けた文献調査に応募した理由や抱えている課題にも目を向けつつ、道の条例で「特定放射性廃棄物の持込みは慎重に対処すべきであり、受け入れ難い」と宣言している趣旨や北海道議会の決議を踏まえ、国民的課題である特定放射性廃棄物の処分のあり方について議論が行われることを求める。

→全会一致で可決

国などに提出した意見書

- コロナ禍における地域経済対策を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める意見書



提案された令和2年度補正予算の内容(抜粋)

水道料金の見直し

モデル的な世帯(2カ月で30m³使用)で年間2772円の減額

図書館での電子書籍やタブレット端末、Wi-Fi環境の整備

令和3年4月から、電子書籍約9000冊と館内閲覧用のタブレット端末6台を導入するとともに、館内のWi-Fi環境を整備

啓西小学校のプールの開放期間・休館日の見直し

・開放期間 4月~1月 ⇒ 4月~12月
・休館日 週1日 ⇒ 週1日(6月~10月)、週2日(左記以外)

高齢者の肺炎球菌予防接種の予算増額

コロナによる肺炎予防の意識の高まりを受け、1279人分を増額

税・国保・介護の収納部門の一元化

令和3年4月から、各種税金や国保料、介護保険料の収納部門を統一するため、システムなどを改修

→ 主な議論の内容は4ページに掲載

議案審査特別委員会を設置・審査後、本会議において全会一致で原案のとおり可決

※ 本号では意見書を除き「新型コロナウイルス感染症」のことを「コロナ」と略して表記しています
※ 決議→ 議会が行う事実上の意思形成行為で、政治的効果を期待して議会の意思を内外に明らかにする議決のこと



三次医療圏にふさわしい保健所機能の拡充
コロナ対策基金の創設を

質 三次医療圏である十勝にふさわしい規模になるよう、保健所および3支所の機能充実をオール十勝で求めるべきでは。
答 保健所の機能が効果的に発揮されるよう、人員体制の強化など必要な支援を求めていく。

質 自治体によってはコロナ対策基金を創設して自治体独自の対策に充てているところがある。こうした基金について市の見解を伺う。
答 設置目的や具体的な活用策などについて慎重に検討を行う必要があるものと考えている。

提言 地元経済団体とも意見交換を行うことで、検討してもらいたい。



コロナ禍における市民が安心して暮らせるまちづくりについて

質 今、十勝・帯広でコロナ収束の見通しが立たない中、市民の不安が高まっているが、市はどのような感染拡大防止の取組みを行っているのか伺う。
答 国や北海道と連携し、地域が一丸となつて取組みをすすめることが重要。地域の医療提供体制の整備を担う北海道と情報を共有し、緊密に連携しながら、開設された宿泊療養施設に職員を派遣するなど、必要な協力を行っている。

提言 北海道が宿泊療養施設を開設したが感染状況に応じて早期に開設が必要だつたと考える。今後も長期間運営することになるが、是非今回の教訓事項を北海道と共に検証してもらいたい。



ごみ燃やせば環境破壊、分ければ資源
ゼロカーボンシティ宣言を

質 総合計画とSDGsを連動させ、まちづくりをすすめているが、コロナ収束後を見据えた予算編成の考え方は。
答 地域経済、ひと、まちの視点から3つの重点を設定し、必要な見直しも行いながら予算編成をすすめている。

質 新中間処理施設の原案が発表された。十勝中からごみを集めて燃やす温室効果ガス削減に相反する計画だ。一般廃棄物の減量化、資源化に関する調査の現状は。
答 追加調査において資源化、堆肥化などの調査をしている。

提言 ごみは分ければ資源、燃やせば環境破壊。19市町村のごみゼロ検討委員会でもゼロカーボンシティ宣言を。



農業振興について
中島霊園、墓地の将来について

質 農業を取り巻く情勢変化の中、持続的に発展させていくために、今後地域の農業振興をどのようにすすめていくのか。
答 先進的な集出荷施設の整備や畑地かんがい施設の整備、GPSガイダンスなどの先進技術の導入をすすめる、生産基盤の強化を行ってきた。今後もスマート農業の拡大や基盤整備をすすめるながら、生産性や収益性の向上を図り、地域一丸となつて強い農業づくりに取り組む。

質 墓のいらぬ人が多い中、中島霊園全体の計画を見直す時期ではないか。
答 実際の整備内容については、適宜見直しを図っており、今後の需要を見極めて長期的かつ安定的な墓地提供に努める。



いのちとくらしを守る市政に

質 医療機関や高齢者施設などで働く人の社会的活動を継続させるため、症状がなくても定期的な検査が必要ではないか。
答 医療機関の負担や財源などが課題。
提言 市としてできることはないのか。医師会とも相談して緊急の体制強化を。

質 緊張感が求められる保育所など児童保育施設職員への慰労金支給の考えは。
答 全道17市17町で実施。国の動向注視。
質 次期介護保険計画で、特養の施設整備は既存の高齢者向け住宅を活用した介護付有料老人ホームなどへの用途変更により低所得者が排除されない対策が必要では。
答 低所得者が入居できるよう引き続き事業者要望していく。



コロナ禍を生き抜くためには
コロナ禍におけるまちづくり

質 私たちは想像していた以上に社会とつながりながら、多くの人々がかかわりながら生きてきた。現在地域経済や市民生活に様々な影響が生じ、コロナ禍の出口がいまだにはっきり見えない中で今後どのようなまちづくりをすすめていくのか。
答 コロナ禍において、集中型社会の脆弱性が浮き彫りとなった。こうした中であるからこそ、私たちは変えるべきもの、変えてはいけぬものをしっかりと見極め、地域の良さを最大限に引き出し、他にはない魅力あるまちづくりをすすめていくことが重要。住民の寛容さ、寄り添う心は、触れ合い、支え合う地域社会を創っていく上で重要な要素と考える。



市役所内でコロナクラスター発生時
市民生活への影響は

質 市役所内でクラスターが発生した場合や業務を休止せざるを得ない場合の考え方について伺う。
答 クラスターが発生しないよう感染予防を徹底しているが、発生した場合は、サービスマン維持の対策として、以前在職していた職員をその部署へ応援に入れ、市民生活への影響を最小限に抑える考え。

質 応援の具体的な検討はあるのか。他部署の業務を応援する体制について伺う。
答 応援に入る職員は異動してから経過年数が極力短い職員を優先して選定している。今後もどの職場で罹患者が発生するか予測できない。状況に応じて適宜柔軟に体制を構築していく考え。



日高山脈襟裳国定公園の国立公園化
障害者福祉推進について

質 国立公園化をすすめる先に見据えるメリットをどう考えているか伺う。
答 とかちの知名度の向上、とかち帯広空港を拠点とした観光利用などによる交流人口の増加はもとより、食と農をはじめめとして、地域資源のブランド化など広く地域の活性化につながっていくものと考えている。

質 障害者就労応援企業の取組みを今後すすめていく考えについて伺う。
答 障害者の就労支援に対し積極的に取り組む企業が増え、障害のある人が地域で働きやすい環境となるよう、他市の取組みや事例を参考としながら、就労の環境づくりを行っていききたい。



帯広市独自の「新生児応援給付制度」の
創設を強く求める

質 コロナ禍にあつて、不安を抱える妊産婦に目を向け、子育て家庭に目配り・気配りをしていく自治体が数多くある。帯広市独自の新生児支援を行わないのかという声も聞くが、子育て家庭に対する具体的な支援策の考えについて伺う。
答 給付などの取組みについては、国の制度、全国一律ということの基本にやっつけていきたいと考えている。

提言 現状は感染拡大が続く大変厳しいコロナ禍にあり、住民の不安は極度に高まっていることから、安心して妊娠出産ができる環境の確保ができるよう、早急に帯広市独自の「新生児応援給付制度」を創設し、具体的な支援を強く求める。



コロナ対策と帯広市の対応

質 飲食店は恐らく帯広市有史以来、今最悪の状況である。週末でさえ客が全く来ない、来ても一組、二組というのがほとんどである。このような状況を本市は分かっているのか。そういった方々への補償は考えたことがあるのか。
答 様々な施策を講じてきているが、市として、現在そのような補償をするという考えはない。

質 市内の飲食店数は1378店舗と聞いている。一律に30万円の支給をしてもいいのではないか。
答 これから新たに示される国からの方向性などを見極めながら、感染症対策を立てていきたい。

コロナ禍における中心市街地活性化 公共施設改革



林 佳奈子 議員
(市政)



質 中心市街地は、ゴーストタウン化しているが、まちなかの商店、飲食店に対して、どのように対応していくのか。

答 コロナの感染拡大を防止しながら、経済活動を維持していくことが重要。国や北海道の動向を踏まえながら、地域の状況を考慮し、必要な対策を検討する。

質 老朽化し、利活用が見込めない公共施設について、帯広市の考えを伺う。

答 建物の老朽状況に応じて、活用方法、売却、貸付けの検討を行う。

提言 維持管理費が財政を圧迫するだけでなく、必要な施設を更新する財源を捻出することが難しくなる。一刻も早く課題解決へ向けて動き出してほしい。



大平 亮介 議員
(共産)



コロナ禍の子どもの貧困対策 同性パートナーシップ制度の導入を

質 コロナ禍の中、子どもの貧困の深刻化が懸念される。市の基本的な認識と今後の対応は。

答 コロナ禍により過度の負担や子どもの貧困につながるのではないよう、子育て家庭が置かれている様々な状況に適切に対応することが大切。子育て家庭に寄り添った取組みを総合的にすすめていく。

質 同性カップルの方は市営住宅には入れない問題がある。権利を保障する姿勢を示すことが何よりも重要。同性パートナーシップ制度の導入の考えは。

答 当事者の方々の意見交換などを通して、パートナーシップ制度の必要性を含め、施策のあり方について検討を行う。

スポーツとまちづくり フードバレーと市民の健康



鈴木 正孝 議員
(無所属)



質 スポーツとまちづくりへの認識は。

答 多様なスポーツへのかかわりを通して、生き生きと輝けるまちをめざし、スポーツの持つ力をまちづくりに生かしていく。

質 学校での部活動の運営指導の現状は。

答 帯広市立学校に係る部活動の方針で活動時間や日数を定め、適切に実施。

質 部活動を地域で担う動きへの考えは。

答 学校だけでなくすすめることができないため、国や他の自治体の動向、モデル校の実例を注視し、関係課などと連携し、生徒に望ましい部活動について考える。



鈴木 正孝 議員
(無所属)



コロナ禍の地域防災訓練、安全安心な 教育環境整備、健康づくり推進

質 令和2年度の冬季防災訓練の開催について伺う。

答 十勝を含む道内で感染が急増する中、参加者の健康と安全を考慮した結果、令和2年度の冬季防災訓練は中止とした。

質 スクール・サポート・スタッフが追加配置されているが、現在までの配置状況を伺う。

答 12月1日現在、36校で42名が配置されている。

本市のがん対策について 医療用ウィッグ(かつら)に助成を



藤澤 昌隆 議員
(公明)



質 がんになっても尊厳を持って暮らせる社会のための市長の考えを伺う。

答 市民の主体的な取組みを促し、地域総ぐるみで健康づくりをすすめていく。

質 教科書による座学も大事だが、がん患者や外部講師の話を聞くことも大事。さらに出前講座を増やす考えは。

答 現在、帯広医師会所属の医師による学校向けの出前講座について、内容などの協議をしているところ。

質 抗がん剤治療ではほぼ頭髪が抜ける。特に女性にとってウィッグ(かつら)は必需品である。助成の考えは。



藤澤 昌隆 議員
(公明)



幼保・学校の休園・学級閉鎖などには 保護者への支援強化が必要

質 コロナ感染者の発生により、保育所の休所や学校の学級閉鎖となった場合、仕事を休むことができない保護者の支援として、ファミリーサポートセンターがある。利用会員が身近な地域で支援を受けられるように、提供会員を増やす取組みを検討すべきであるが、市の考えは。

答 ファミサポセンターは保護者の就労の場合の預かりが最も多い。コロナ禍においても感染症対策を行いながら実施している。提供会員を増やし、利用会員が身近な地域で支援を受けられることができる。

提言 コロナ禍の一定期間、利用料金の一部支援を検討すべき。

災害時の避難所のあり方、福祉事業所について、帯広市の未来像



木幡 裕之 議員
(市政)



質 コロナ禍における体育館以外の学校避難所について伺う。

答 普通教室や特別教室などが利用できるように、各学校と調整を行っている。

質 消防に導入予定の陰圧ストレッチャ、通称アイソレタについて伺う。

答 感染症患者搬送用の密閉式のカプセルで、飛沫拡散防止や感染防止に役立つ福祉事業所で、感染者の発生やクラスターに認定された場合の対応を伺う。

質 単一事業所のみでの対応ができないため、他の事業所の協力を得て支援する。創業・起業の取組みについて伺う。



今野 祐子 議員
(公明)



お悔やみ窓口での手続きで一元化と 小中学校のICT化の研修予定

質 お悔やみ後に来庁する際、死亡に関する様々な書類や届出の漏れのないよう、ご遺族を支援する一元化した「お悔やみ窓口」を帯広市でも開設する考えは。

答 市民の利便性の向上と事務の効率化をすすめる必要がある。事例やICT化の動きなどを含め、調査研究していく。

質 不登校の児童生徒にも、コロナ禍でも大変有効なのが自宅学習のできるICTの活用。指導の場面で、教員が戸惑うことなく指導できるための取組みを伺う。

答 教員への研修については、委託民間事業者における研修動画の配信、端末操作方法の研修会、マニュアルの整備などをすすめていく。

出張にかかる旅費は かかった分だけを支給するべき!



清水 隆吉 議員
(開政)



質 透明性を確保するといった点から規定の金額を超える場合も、下回る場合でも実際にかかった経費を支給することが望ましいと考えるが見解を伺う。

答 定額で支給することは、事務負担の軽減と効率化を図る上で一定の合理性はあると考えている。一方で、近年宿泊施設を個人で予約することが一般的であることを踏まえ、事務の煩雑化を招くことなく実費支給とする検討をしている。

提言 定額支給に合理性があるという答弁をしながらも実費支給の検討をしているということは、既に定額支給の合理性がないと認識しているのではないか。検討の余地はなく、するかしないかだ。



大塚 徹 議員
(市政)



日高山脈襟裳十勝国立公園化達成時に 十勝帯広市と名称変更を

質 道外での認知度は必ずしも十勝と管内19市町村は表裏一体ではない。まずは十勝の母都市である帯広市のみでも、この国立公園化を機会に十勝帯広市と先行して変更すべきと提案する。

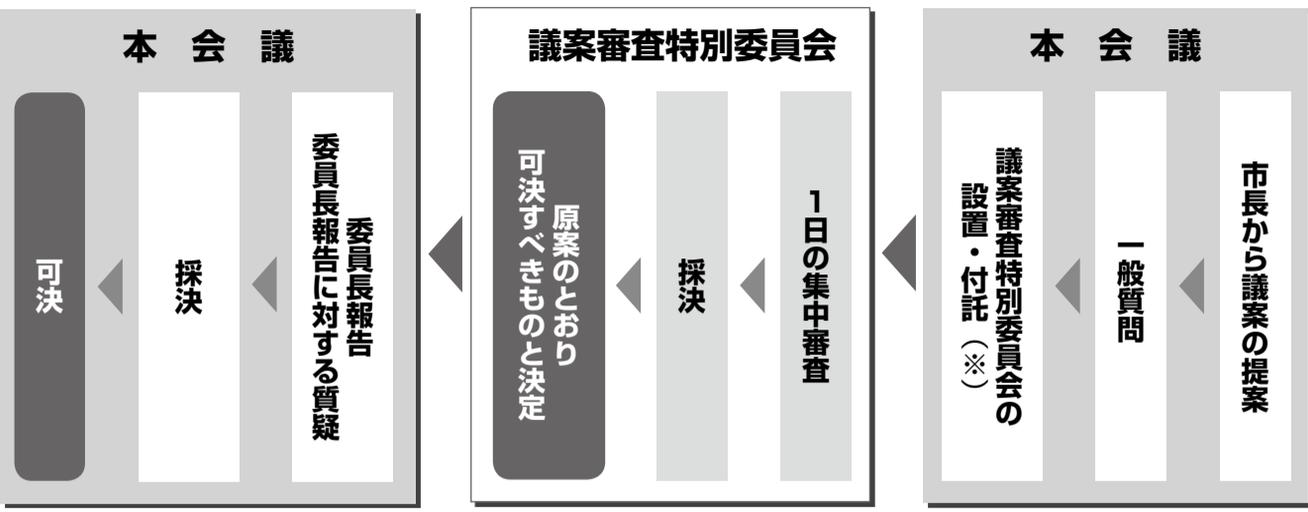
答 十勝帯広市という自治体名称の提案をいただいた。十勝・帯広の魅力と名称を一体的に発信していくことは重要な取組みであると認識している。

提言 十勝帯広市と市名を変えればテレビの天気予報も十勝帯広になる。この国立公園化を機にいろいろな意味で十勝と帯広の一体化の検討をすすめて、でき得る最大限の対策を打って十勝・帯広市の知名度アップ、発展につなげてほしい。

令和2年度補正予算などにおける主な議論 【議案審査特別委員会】

市長から提案されたコロナ対策をはじめとする補正予算などの議案は、議案審査特別委員会での集中的な審査を経て、本会議において全会一致で可決しました。ここでは、委員会における主な議論の概要をお伝えします。

【審査の流れ】



収納部門の一元化

令和3年4月から税・国保料・介護保険料の収納業務を一元化することで、納付状況の把握や納付相談が1つの課でできるようになるとのことだが、それぞれの制度の熟知や丁寧な引き継ぎなどにより、業務体制をしっかりと整えていくべき。



ICT機器の購入

新しい生活様式に対応するため、職員がオンライン会議や研修などに使用するICT機器を購入することだが、今後、市民が参加する講座のオンライン化など、ICTの活用による市民サービスの向上にも努めるべき。



ふるさと納税

令和2年度は昨年度に比べ、ふるさと納税による寄付額が大幅に増えている。今後も多くの事業者への働きかけなどにより返礼品を充実させ、さらなる寄付額の増加を図るべき。



ひとり親世帯への給付金の再支給

コロナ禍による、ひとり親世帯の子育ての負担増加や収入の減少に対する支援を行うため、児童扶養手当受給者に対し給付金を再支給すること。前回の支給を受けておらず、これから申請する人にもできるだけ早く支給すべき。また、対象者の申請漏れがないよう、周知を徹底すべき。



肺炎球菌予防接種助成制度

大人がかかる肺炎のうち、肺炎球菌によるものは25〜40%を占め、特に高齢者の重篤化が問題となるが、肺炎球菌の予防接種は指定の年齢に接種する場合のみ助成の対象となるため、接種漏れがないよう、対象者への周知徹底に努めるべき。

令和2年度の予防接種助成対象者

年齢	生年月日
65歳	昭和30年4月2日生～昭和31年4月1日生
70歳	昭和25年4月2日生～昭和26年4月1日生
75歳	昭和20年4月2日生～昭和21年4月1日生
80歳	昭和15年4月2日生～昭和16年4月1日生
85歳	昭和10年4月2日生～昭和11年4月1日生
90歳	昭和5年4月2日生～昭和6年4月1日生
95歳	大正14年4月2日生～大正15年4月1日生
100歳	大正9年4月2日生～大正10年4月1日生

※ただし、これまで接種を受けたことがない方に限る

コロナ禍における空港運営

コロナによって減便が続き、旅客数が減少するなど、厳しい状況が続いている。令和3年3月からは民間委託が始まるが、市民の重要なインフラとして、運営者と連携して旅客数の回復に向けて努力すべき。



令和3年3月から民間委託が始まる帯広空港

救急搬送体制の整備

救急車の同乗者や救急隊員の感染防止対策として、ウイルスの拡散を防止しながら患者を搬送できる「陰圧患者搬送用器具」などを購入することだが、迅速な配備と適切な運用に努めるべき。



陰圧式患者搬送用器具

啓西小プールの開放期間見直し

令和3年度から、啓西小学校のプールの一般開放期間を1カ月間短くすることだが、経費や利用状況などを踏まえ、より効率的な運営方法の検討をすすめるべき。



図書館・学校図書館への電子書籍の導入

図書館に約9000冊、小中学校それぞれに約100冊の電子書籍が導入され、令和3年度から貸し出しが始まるとのことだが、セキュリティなどの運用について、しっかりと整えていくべき。



ばんえい競馬の振興

ばんえい競馬への寄付金は、これまで施設整備やイベント開催などのPR活動・情報発信に使用してきたことだが、広報周知活動をさらに充実させ、ファン拡大に努めるべき。



水道料金の見直し

水道料金の見直しが行われることで、多くの世帯で令和3年1月検針分からの水道料金が安くなる。市民生活への影響も大きいので、しっかりと周知に努めるべき。



※ 付託→ 本会議での議決の前に、議案などの検討を詳しく行うため、委員会に審査を委託すること

議会トピックス

来て・見て・直接感じて

帯広市議会

僕らが案内するよ!



市役所へは行ったことがあるけれど、市議会には行ったことがないという人は多いと思います。今回はそんな議会棟をご案内します!

議会棟は、市役所本庁舎の北側にあるよ!



議会棟



1F フロア図



議員の調査研究のために「議会図書室」があるよ。



図書室



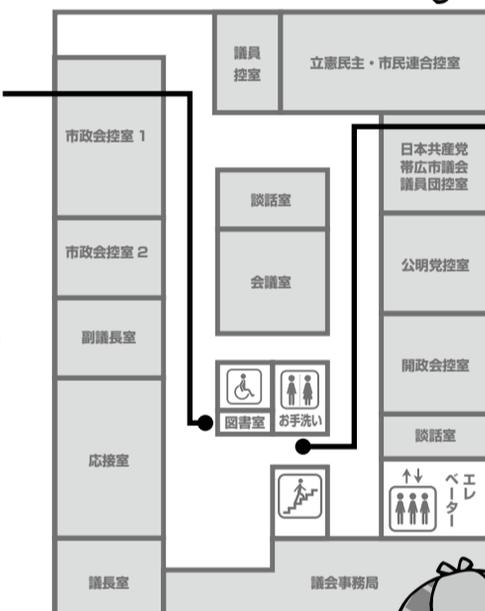
官公庁の刊行物や地方自治に関する書籍など、様々な図書を保存しているよ。誰でも利用できて図書を閲覧することもできるよ。

■利用時間：8時45分～17時30分

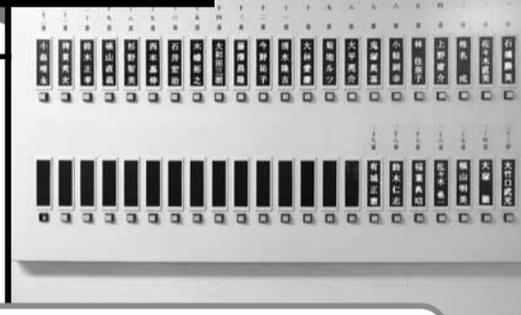
(閲覧および貸出)

■蔵書数：1648冊 (R2.12.31時点)

2F フロア図



議員登庁表示盤



これは「議員登庁表示盤」といって、議員が議会棟に来たことを知らせるものだよ。本会議や委員会に出席する議員はこれを点灯させて集まったことを知らせるんだよ。

ここは「特別委員会室」。本会議に提出された議案などを集中的に審査する特別委員会などを開催しているんだ。



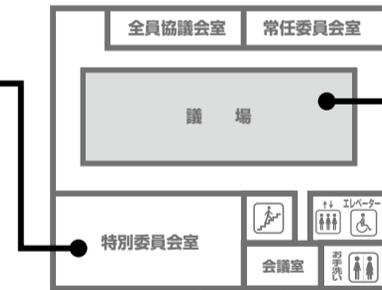
特別委員会室



近頃はコロナ対策で「総務・厚生・産業経済・建設文教」の4つの常任委員会も常任委員会室ではなく、こっちで行なっているよ。



3F フロア図



議会事務局は市議会の運営をサポートしているよ。会議の予定や議会に関してはここに問い合わせをしてね。



議長席の後ろにある木のレリーフはなに?



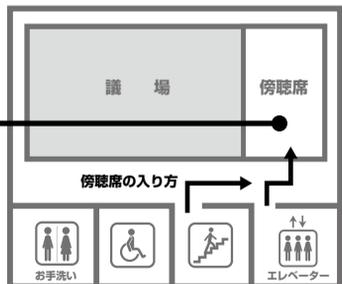
議場



みそのおあきぼ 御園生明穂さんの「樹魂」という作品だよ。明るく、力強く、未来に向かって発展する帯広市のたくましさを、大地にしっかりと根をつけた生命感から表現しているんだ。



4F フロア図



コロナ対策で座席の間隔も開けているね。



傍聴席



常任委員会などの動き

12月～1月

総務委員会

重点調査項目など

地方創生・自治体間連携／効果的・効率的な自治体経営の推進／地域防災と市民協働のまちづくり／第11次帯広市交通安全計画

理事者報告

1月 とちかち広域消防事務組合の運営に関する検討状況

質問通告

1月 国勢調査2020の概要／多様な性に関する職員ガイドライン

厚生委員会

重点調査項目

環境保全及び廃棄物処理／保健予防・医療及び国民健康保険／高齢者・障害者福祉及び介護保険／子育て支援

理事者報告

1月 帯広市医師会立看護学校の整備

質問通告

12月 新中間処理施設／年末年始の子どもの貧困対策／受診抑制の現状と対策／第8期帯広市高齢者福祉計画・介護保険事業計画／市のコロナ対応／コロナ感染者の状況、検査体制、今後の対応

1月 コロナ禍の生活困窮者支援

産業経済委員会

重点調査項目

観光振興及び空港活性化／地元企業の振興／農林業及び畜産業の振興

理事者報告

1月 帯広市における観光振興に係る新たな財源に関する提言書

懇談会

1月21日に、ばんえい競馬馬主協会と懇談会を実施しました。

建設文教委員会

重点調査項目

道路の維持管理／住まい／緑の保全及び公園の維持管理／上、下水道施設の維持管理

学校教育

理事者報告

1月 おびひろ上下水道ビジョン(2020-2029)の一部改訂／教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書

質問通告

12月 除雪車両の更新計画／除雪／借上げ市営住宅の今後／コロナ禍における市営住宅の現状／コロナ感染者の学校名公表の基準等／コロナ禍において子どもたちの安全を守る対策／学校教育におけるコロナ対応

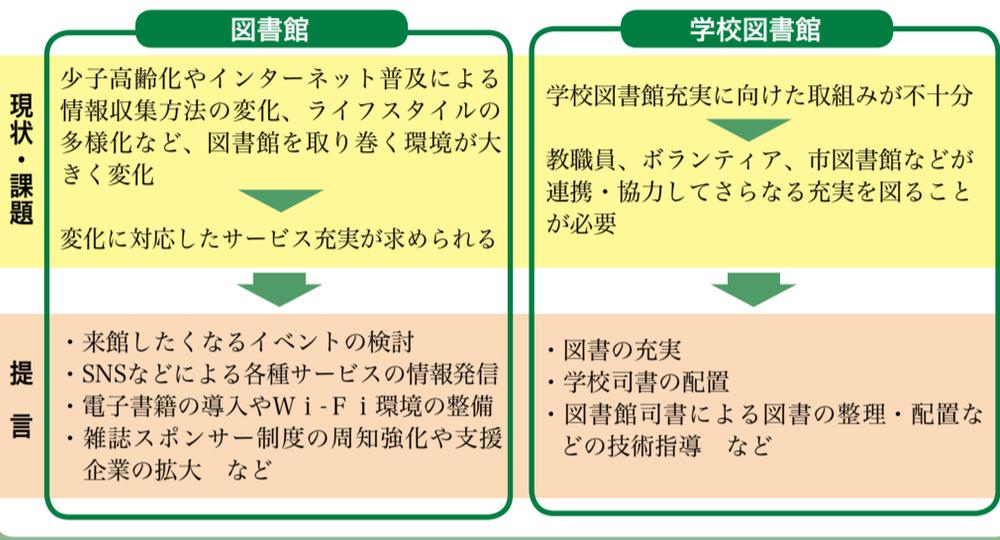
1月 おびひろ動物園の魅力アップに向けて(方針)／双葉幼稚園の管理／図書館の活性化／フードバレーとちかちマラソン

議会運営委員会

協議事項

令和2年第7回定例会の運営／議会運営検討項目

建設文教委員会が市に提言を行いました(図書館・学校図書館の整備充実について)



議会トピックス 自宅から市議会の動きを見てみよう！

①映像で見る! 「インターネット映像配信」

本会議や常任委員会など、ほぼすべての映像を生中継しています。また、過去の会議の録画映像も配信しています。好きな時間にパソコンやスマートフォンなどでご覧ください。



インターネット映像配信ページ



②議論内容を詳しく調べる! 「会議録の検索システム」

平成13年から最新の会議内容を見ることができます。気になる単語から検索することもできますので、ぜひご利用ください。



会議録検索ページ

③令和3年1月にリニューアル! 「市議会ホームページ」

議員名簿や年間の会議予定、議会だよりのバックナンバー、常任委員会への提出資料など、たくさんの情報を掲載しています。令和3年1月にシステムを入れ替え、スマートフォン対応となりましたのでぜひご覧ください。



市議会ホームページ



編集後記

2020年はコロナ禍の1年でした。行動制限や緊張の中、当たり前の生活が当たり前ではなくなり、価値観を見直す機会にもなりました。立春を過ぎ、暦の上ではもう春です。まもなく卒業・入学など、新たなシーズンの到来!新しい生活様式とともに、希望にあふれたスタートができるよう祈っております。日々変わる感染状況の中、議会でも引き続きコロナ対策はもとより、皆さまの声を届けるよう全力で取り組んでまいります。

(編集委員 林 佳奈子)

～令和3年3月定例会 開催予定日のお知らせ～

開催日時	会議内容
1日(初日) 13時～	本会議
2日 10時～	議案審査特別委員会
3月 5日、8日 10時～	代表質問
9日～12日 ※9日は予備日 10時～	一般質問
15日～19日、22日、23日 10時～	予算審査特別委員会
25日(最終日) 13時～	本会議

- 議会は傍聴できますが、マスクの着用など、感染症対策にご協力ください。(感染症の発生状況によっては、別室モニターでご覧いただく場合があります)
- 咳などの症状がある方は、傍聴をお控えください。
- 議会の様子は、インターネットから生中継と録画映像配信を行っておりますので、市議会ホームページからご覧ください。

※日程は現時点での予定であり、変更することがあります。

帯広市議会インターネット映像配信 検索